

令和4年度 芸術『音楽Ⅱ』シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科2年A組～C組
教科書	高校生の音楽②（教育芸術社）	副教材等	

1 学習の到達目標等

<p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	鑑賞の楽しみ	オリエンテーション	音楽Ⅱの学習内容を理解する。	ワークシート 観察 聴取
5		リトミック	音楽に合わせて体を動かし表情豊かに表現する。	ワークシート 観察 聴取
6		小曲の鑑賞 音楽番組の鑑賞 ミュージカルの鑑賞	鑑賞を通してさまざまな音楽の世界を知り、特に興味を持った分野について探究的な学習を行う。 物語とドラマチックに変化する音楽を味わう。ストーリーの背景にあるものを探る。	
6	器楽・創作の楽しみ	リズムアンサンブル ボディパーカッション 指揮法	リズムの面白さを味わいながら、さまざまな工夫をこらした創作活動に発展させる。文化祭等でも発表を行う。アンサンブルの指揮を行う。	ワークシート 観察 聴取 課題進度状況 実技テスト
7	歌唱の楽しみ	発声とソルフェージュ	美しいハーモニーを生み出すためにはどのようなことが必要か理解させる。 協働学習に積極的に参加し、音楽を通してコミュニケーションの活性化をはかる。	観察 聴取
9		合唱 ヴォーカルアンサンブル	ア・カペラの響きも味わいながら、アンサンブルについてと、その曲にふさわしい表現を学ぶ。	観察 聴取 課題進度状況 実技テスト

10	器楽の楽しみ	ミュージックベルアンサンブル	ミュージックベルの基本奏法を学び、グループで演奏する楽しさを味わう。	観察 聴取 課題進度状況 実技テスト
11	歌唱・創作の楽しみ	オペラやミュージカルの一場面の再現	セリフや動きも加えて、表情豊かな表現を工夫する。	観察 聴取 課題進度状況
12	鑑賞の楽しみ	日本の伝統音楽	箏の基本奏法について学び、箏の音色を味わう。	ワークシート
1		世界の諸民族の音楽	諸民族の音楽に触れ、日本や世界の文化に対する理解を深める。	観察 聴取
2			卒業式の準備をするとともに、校内に歌の輪（和）を広げる。	
3	1年間のまとめ			レポート

3 評価の観点

知識・技能	曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現及び主体的に学習に取り組む態度の3観点から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

感染症対策に配慮しながら進めます。そのため内容を変更する場合があります。今できることにしっかり取り組んで、音楽の持つ力を再確認しましょう。皆さんで思いっきり歌えるときが来たら、ともに美しいハーモニーを味わい楽しみましょう。

授業は2時間連続のため、最初は長く感じるかもしれません。集中力が途切れないように、鑑賞・歌唱・リトミック・器楽等のさまざまな分野を組み合わせで行います。

体を動かすときは各自で私物の管理をお願いします。特に眼鏡ケースやスマートフォンを床に置かないように気をつけてください。

音は瞬時に消えてゆきます。その瞬間を共有して楽しみましょう。同時に、記録シートを配布しますので忘れぬうちに記入してください。学習したことが定着しやすくなります。文字は読みやすさを心がけましょう。